

修士課程受験の経験

潘翔宇

私は 2022 年 6 月に大学を卒業しました。2022 年 7 月に亜細亜友之会外語学院に来てから、すぐ試験の準備をはじめました。10 月には慶應義塾大学の先生から内諾を頂いて、その後出願しました。12 月に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科に合格しました。ここで、私自身の受験体験を後輩の皆さんにお伝えしたいと思います。

まず、日本の修士課程試験は、大学院の研究科によって登録要件や試験内容が異なることを強調しておく必要があります。ここでは、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科の受験対策についてのみ説明します。

まず、政策・メディア研究科を選んだのは、好きな先生がいるからです。国内の大学に留学していたときに、その先生の関連著作を読み、関連する研究をしようと思いました。もちろん慶應義塾も私にとって志望校でしたし、最終的に合格することができたのは本当に幸運でした。政策・メディア研究科では年 2 回試験があり、入学時期は 9 月または翌年 4 月を選択できます。政策・メディア研究科の研究範囲は広く、各分野の先生がいらっしゃいます。毎年、国内からの出願者、海外からの出願者、社会人出願者、内部推薦者等を合わせると定員は 200 名程度もありますから、合格確率はかなり高くなっています。

出願について。政策・メディア研究科に応募するには、事前に大学院の先生に連絡し、研究計画について先生と話し合った後、先生から内諾をもらってから出願することができます。(登録システム上では、大学院教員の推薦が必要となります。) 従って、できるだけ早く研究計画書を書き終えて、先生に連絡することをお勧めします。そのほか、中国国内の大学教員 1~3 名からの推薦書(政策・メディア研究科の推薦書は全てオンラインで記入することができて、紙の必要がなく便利です)、在学証明書、学位証明書、成績証明書などの資料(三ヶ月以内に作成されたもの)が必要となりますので、これらも事前に準備する必要があります。

試験について。政策・メディア研究科は書類審査のみで、審査に合格したら 12 月の面接に参加することができます。従って、事前準備は比較的簡単です。面接での質問も主に研究計画書に関するもので、比較的普通の質問です。

専攻の学習について、私は中国国内で日本語を専攻していますが、日本に来てからは社会学に専攻を変更したので、基礎から始めるのと同じでした。基礎がまったくない学生は、塾の先生の指導の下で一緒に専門知識について勉強することをお勧めします。

気持ちについては、試験に合格しても不合格でも、できるだけ平常心で対処するようにしましょう。